

統一テーマ:ポスト冷戦20年の基本問題

2011年オキュパイ運動と「横倒しされた世界史」、そしてケネー「経済表」

福島大学 後藤 康夫

はじめに 歴史をめぐる 延長・完成 vs 飛躍

①'89 ベルリンの壁崩壊 F. Fukuyama, The End of History

'08 リーマンショック S. Zizek, The Return of History → ヘーゲル世界史

'11 グローバルな運動 S. Milne, The Revenge of History

②'09 E. Hobsbaum, "Socialism has failed. Now capitalism is bankrupt. So what comes next?"

'10 S. Zizek, "The answer is : communism."

'09 A. Negri, M. Hardt, Common Wealth,

'10 D. Harvey, The Enigma of Capital → 共産主義的生産様式の成立と「何をなすべきか」

諸論点

1 2011年グローバルな運動 主体・場が地上に登場 ネット新世界の可視化

2 全体像 「横倒しされた世界史」(大塚久雄、1960)のネット・グローバル版

三層

労働

① ネット新世界

科学的労働

② 資本主義世界

米中双軸 Chimerica

直接労働

③ グローバル原蓄

「スラムの惑星」(M. Davis)

過剰人口・アジア的基層社会

* 焦点 ① グローバル・シティ (S. Sassen, 移民・女性)

② 労働力のグローバルかつ階層構成 → 多様な人種・民族、性を通じた階級形成

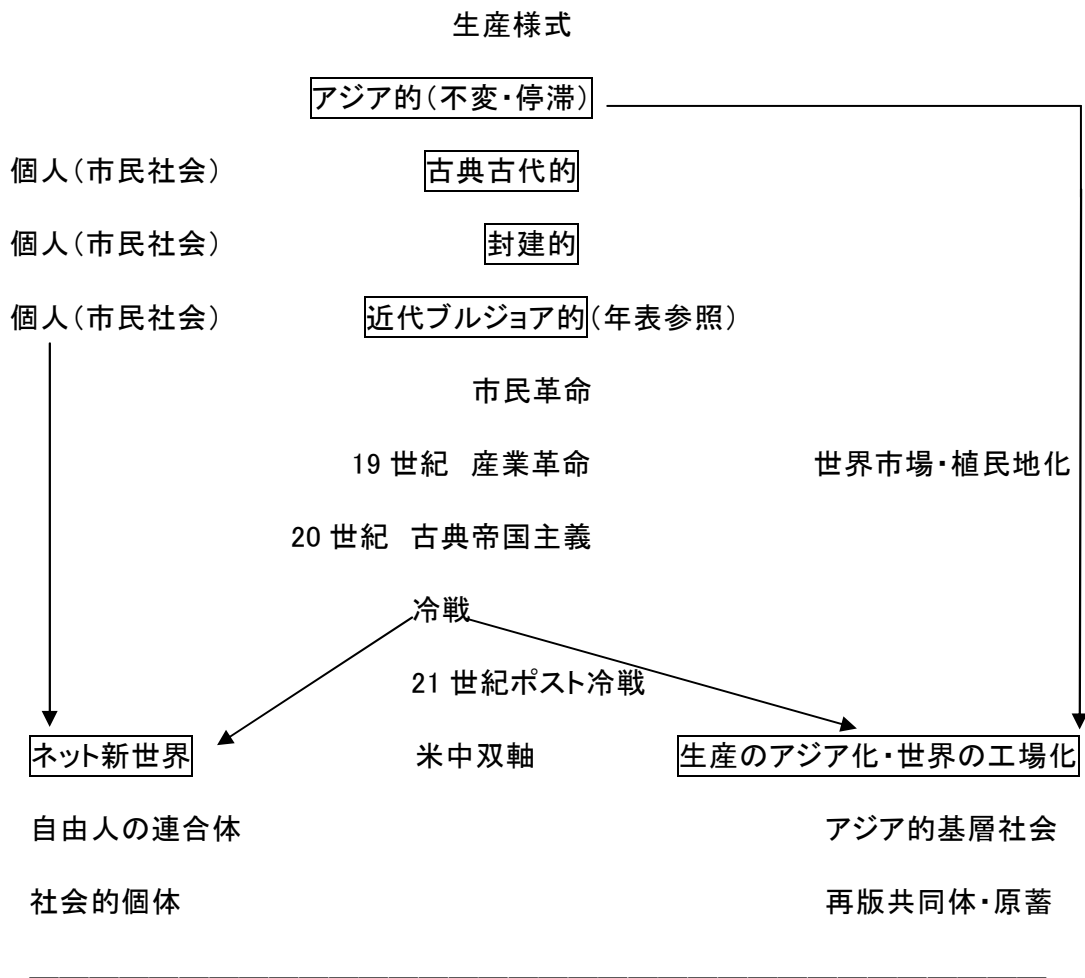
3 位置 ケネー「経済表」の21世紀版(新たな過渡期の経済学)

① 三大階級 → 三層構成: 資本主義世界の共産主義的再生産(アジア的基層社会の原蓄・資本主義的再生産を包摂)

② 絶対地代 → 利潤のレント化: 資本の私的所有純化形態としての金融新世界(労働力の年金・債務まで含む全機構的包摂)

参考図

1859 マルクス『経済学批判』序言→「横倒しされた世界史」(不均等発展の同時存在)



三層構成

巡回基軸

編成替

基柢

Ex. 山田盛太郎『日本資本主義分析』編成のネット・グローバル版